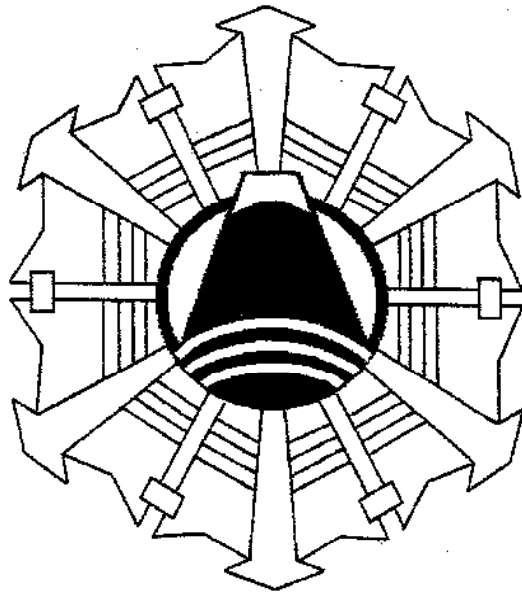


いただきへの、
はじまり



令和7年

火災統計



富士市消防本部

はじめに

この統計は、令和7年中に富士市で発生した火災の実態を取りまとめたもので、その概要を公表するものです。

1 総出火件数は66件、前年より2件減少

総出火件数66件の内訳を火災種別ごとで見ると、「建物火災」が41件で前年より6件増加、「林野火災」が1件で前年と同数、「車両火災」が12件で前年より2件減少、「その他の火災」が12件で前年より6件減少しました。

2 火災による「死傷者」は、前年より増加

火災による「死者」は3人で前年より2人増加、「負傷者」は15人で前年より2人増加しました。

3 出火原因の第1位は「たばこ」

出火原因は、第1位が「たばこ」で11件、第2位が「電気機器」で8件、3位が「排気管」で4件となりました。

4 火災による損害額

火災による損害額は約9千5百万円で、前年より約4億4千万円減少しました。

結びに、本統計が皆様の火災予防啓発につながれば幸いです。

令和8年4月

富士市消防本部予防課

目 次

1 火災発生状況

(1) 火災状況と対前年比	1
(2) 月別火災状況	2
(3) 火災種別の割合	3
(4) 月別火災発生状況	3
(5) 覚知別の割合	4
(6) 覚知時間別の状況	4
(7) 地区別火災発生状況	5
(8) 原因別の月別火災発生状況	6
(9) 署所（受持区域）別火災発生状況	7

2 建物火災の状況

(1) 建物火災の用途別内訳	8
(2) 過去10年間の住宅火災による死者の年齢別内訳	8

3 火災の傾向

(1) 過去10年間の火災動向	9
(2) 過去10年間の原因別火災動向	10

1 火災発生状況

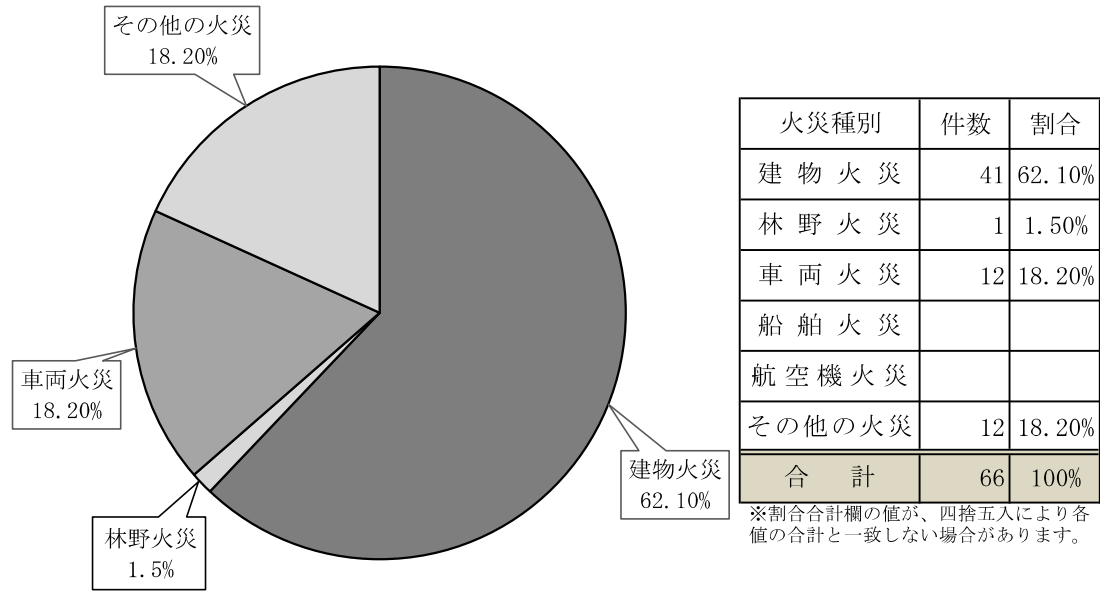
(1) 火災状況と対前年比

区 分		令和7年 【A】	令和6年 【B】	前年比較 【A】－【B】
出火件数 (件)	建 物 火 災	41	35	6
	林 野 火 災	1	1	
	車 両 火 災	12	14	▲ 2
	船 舶 火 災			
	航 空 機 火 災			
	そ の 他 の 火 災	12	18	▲ 6
	計	66	68	▲ 2
焼損棟数 (棟)	全 焼	10	9	1
	半 焼		2	▲ 2
	部 分 焼	21	12	9
	ぼ や	29	21	8
	計	60	44	16
建物焼損床面積 (㎡)		920	1,700	▲ 780
建物焼損表面積 (㎡)		858	87	771
林野焼損面積 (a)			2	▲ 2
死 者 (人)		3	1	2
負 傷 者 (人)		15	13	2
り 災 世 帯 (世帯)		33	20	13
り 災 人 員 (人)		83	44	39
損害額 (千円)	建 物 火 災	88,583	528,527	▲ 439,944
	林 野 火 災	3		3
	車 両 火 災	6,081	5,820	261
	船 舶 火 災			
	航 空 機 火 災			
	そ の 他 の 火 災	68	617	▲ 549
	計	94,735	534,964	▲ 440,229
出 火 率 (人口1万人当たりの出火件数)		2.7	2.8	――

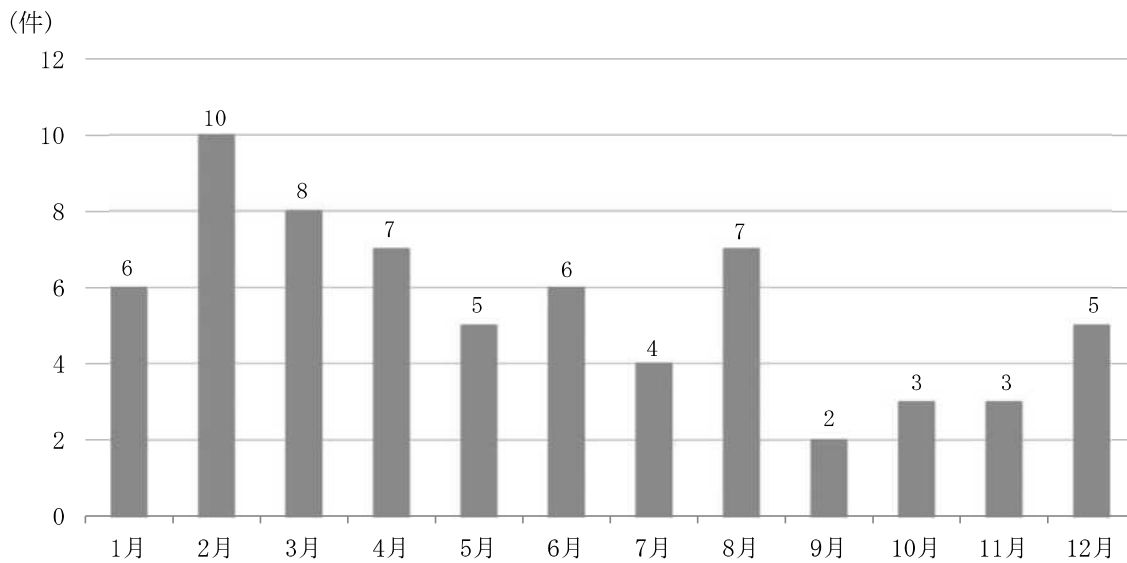
(2) 月別火災状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
火災件数 (件)	建物	1	6	5	6	3	6	2	4	1	3	2	2	41	
	林野	1												1	
	車両	2		1		2		2	1	1		1	2	12	
	船舶														
	航空機														
	その他	2	4	2	1				2				1	12	
	計	6	10	8	7	5	6	4	7	2	3	3	5	66	
焼損棟数 (棟)	全焼		2	1	2	1	1		2				1	10	
	半焼														
	部分焼	1	8	1	1	2	4		1		1		2	21	
	ぼや		3	7	3	1	3	2	4	1	2	2	1	29	
	計	1	13	9	6	4	8	2	7	1	3	2	4	60	
焼損面積	床面積(㎡)		178	189	46	29	11		280		66		121	920	
	表面積(㎡)	2	682			151	15		1				7	858	
	林野(a)														
り災状況	り災世帯 (世帯)	全損		2	1				1		1		1	6	
		半損		1										1	
		小損	1	7	4	1		5	1	2		3		2	26
		計	1	10	5	1		5	1	3		4		3	33
	り災人員	4	20	18	4		14	1	9		8		5	83	
	死傷者数	死者		3											3
		負傷者		6	6			1				1		1	15
損害額 (千円)	建物	160	27,807	21,223	2,176	11,603	948		12,312	115	4,970	3,496	3,773	88,583	
	林野	3												3	
	車両	528		3		468		1,117	584	440		2,308	633	6,081	
	船舶														
	航空機														
	その他		45	22									1	68	
	計	691	27,852	21,248	2,176	12,071	948	1,117	12,896	555	4,970	5,804	4,407	94,735	

(3) 火災種別の割合

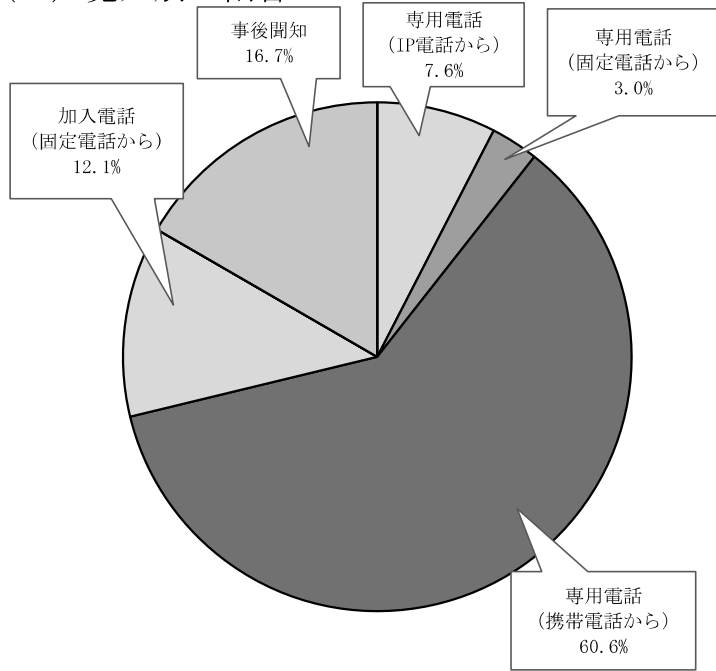


(4) 月別火災発生状況



令和7年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
発生件数 (件)	6	10	8	7	5	6	4	7	2	3	3	5

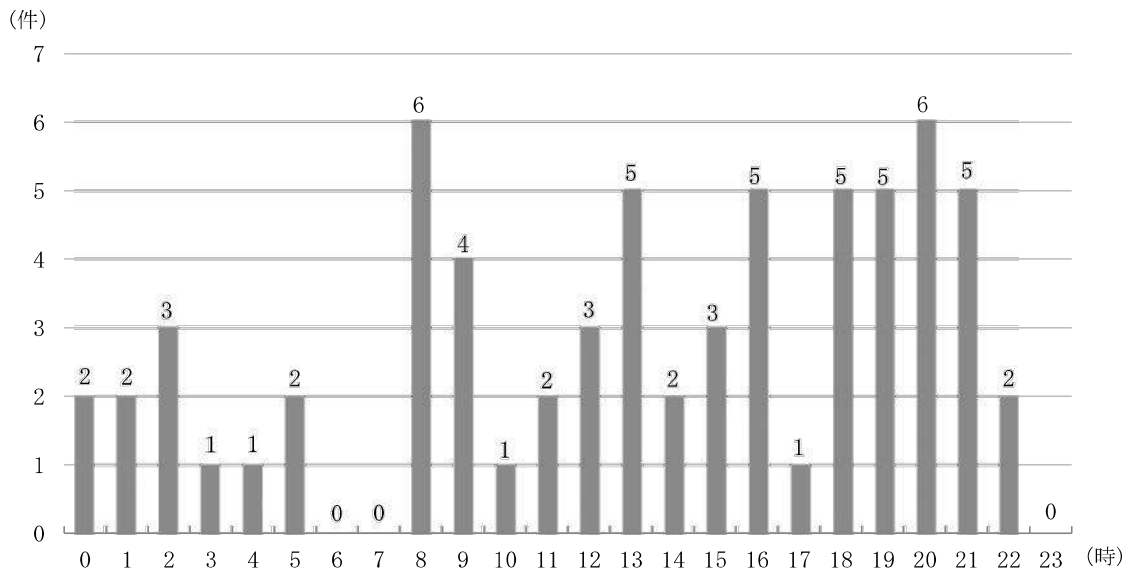
(5) 覚知別の割合



覚知方法区分	件数	割合
専用電話 (IP電話から)	5	7.6%
専用電話 (固定電話から)	2	3.0%
専用電話 (携帯電話から)	40	60.6%
加入電話 (固定電話から)	8	12.1%
加入電話 (携帯電話から)	0	0.0%
警察電話	0	0.0%
駆け付け通報	0	0.0%
事後開知	11	16.7%
その他	0	0.0%
合計	66	100%

※割合合計欄の値が、四捨五入により各値の合計と一致しない場合があります。

(6) 覚知時間別の状況



時間	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時
	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時	24時
件数(件)	2	2	3	1	1	2	0	0	6	4	1	2	3	5	2	3	5	1	5	5	6	5	2	0

(7) 地区別火災発生状況

区分 地区別	人口	世帯 (令和8年1月1日現在)	出火状況							発生率	り災状況		損害額 (千円)	
			出火件数(件)								世帯	人員		
			建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計					
吉原	11,581	6,022	3		1				4	6.1%			413	
伝法	11,788	5,604							2	3.0%			5	
今泉	11,841	5,684	4						4	6.1%	1	2	603	
広見	12,101	5,738	1		1				2	3.0%	1	1	82	
元吉原	7,047	3,384	2						2	3.0%	1	4	3,408	
須津	10,438	4,523	4		1				1	6	9.1%	3	11	1,677
浮島	1,461	619	1						1	2	3.0%			1,066
吉永	6,809	3,109	2						2	3.0%			84	
原田	6,476	2,879	1						1	1.5%			10,460	
大湍	11,683	5,318	4		2				3	9	13.6%	2	12	19,261
富士駅北	12,260	6,117	2		1				3	4.5%			230	
富士駅南	12,108	5,946												
田子浦	14,332	6,544	1						1	2	3.0%	4	14	19,510
岩松	9,904	4,411												
鷹岡	12,151	5,480	4						4	6.1%	3	7	1,265	
丘	13,903	6,207	1	1					1	3	4.5%	1	2	5
富士見台	5,530	2,625	2						2	3.0%	6	11	8,740	
神戸	3,803	1,612			1				1	1.5%			440	
富士南	17,689	7,956	6						6	9.1%	4	6	9,772	
天間	6,334	2,985												
吉永北	2,550	1,156			1				1	2	3.0%			68
青葉台	9,433	4,200	1						1	1.5%	5	6	4,637	
岩松北	10,202	4,460	1		3				1	5	7.6%			679
富士北	9,164	4,032												
富士川	7,662	3,416	1						1	2	3.0%	2	7	11,263
松野	6,387	2,883			1				1	1.5%			1,067	
その他	81	58												
合計	244,718	112,968	41	1	12				12	66	100%	33	83	94,735

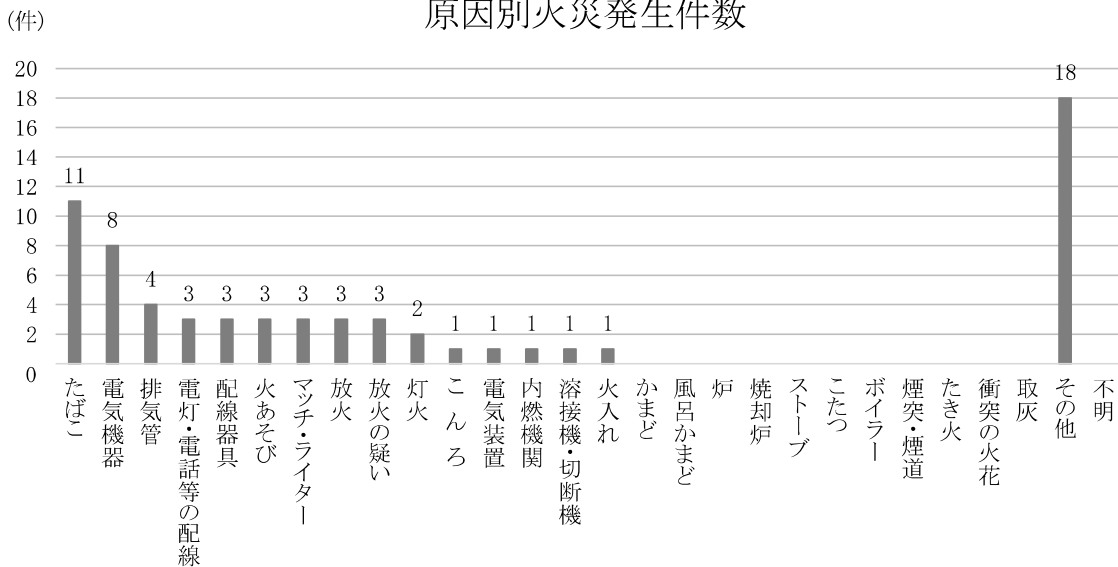
※発生率合計欄の値が、四捨五入により各値の合計と一致しない場合があります。

(8) 原因別の月別火災発生状況

区分 原因別	順位	月別火災発生件数 (件)												焼 損 面 積			損害額 (千円)	
		計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	床面積 (㎡)	表面積 (㎡)		林野 (a)
たばこ	①	11	2	2		1	1	2		2	1				230	209		27,113
電気機器	②	8		2	1	2		2	1						236	635		26,645
排気管	③	4					1			1			1	1				3,681
電灯・電話等の配線		3					1			1			1		2			3,022
配線器具		3				1		1				1			75			5,059
火あそび		3	1	1										1		2		316
マッチ・ライター		3			1	2									24			1,551
放 火		3		2						1					25	3		16,056
放火の疑い		3	1		1				1						12			1,104
灯 火		2						1				1						73
こんろ		1												1	121	7		3,773
電気装置		1			1													1,155
内燃機関		1	1															28
溶接機・切断機		1		1														40
火入れ		1			1													
かまど																		
風呂かまど																		
炉																		
焼却炉																		
ストーブ																		
こたつ																		
ボイラー																		
煙突・煙道																		
たき火																		
衝突の火花																		
取 灰																		
その 他		18	1	2	3	1	2		1	3	1	1	1	2	195	2		5,119
不 明																		
合 計		66	6	10	8	7	5	6	4	7	2	3	3	5	920	858		94,735

※「その他」は、原因別項目に該当しない原因を計上しています。

原因別火災発生件数

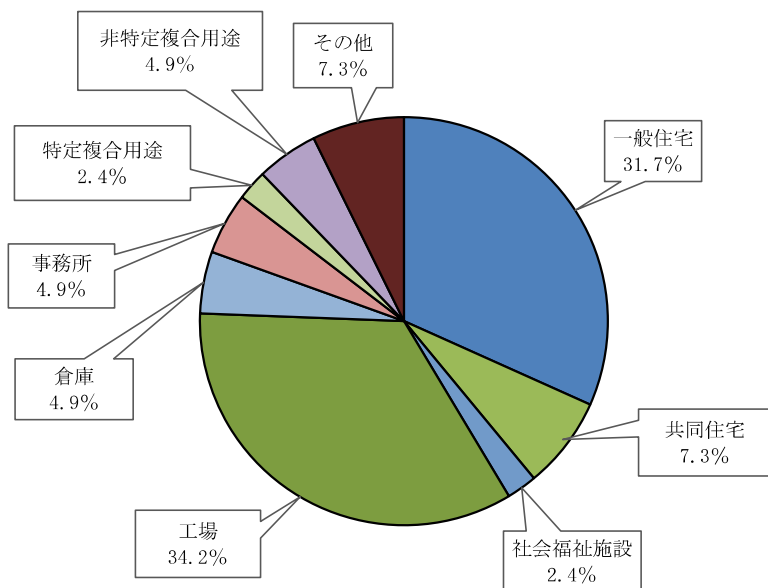


(9) 署所（受持区域）別火災発生状況

署所別 区分		中央消防署					西消防署					合 計	
		本 署	臨 港 分 署	吉 永 分 署	富 士 見 台 分 署	大 淵 分 署	小 計	本 署	鷹 岡 分 署	南 分 署	富 士 川 分 署		小 計
火災件数 (件)	建 物	6	3	7	4	5	25	3	5	7	1	16	41
	林 野								1			1	1
	車 両	1		2	1	3	7	4			1	5	12
	船 舶												
	航空機												
	その他	2		2	1	3	8	1	1	1	1	4	12
	計	9	3	11	6	11	40	8	7	8	3	26	66
焼損面積	床面積(m ²)	4	14	176	287	25	506	6	1	281	126	414	920
	表面積(m ²)				215	5	220	15		622	1	638	858
	林 野(a)												
損害額 (千円)	建 物	762	3,424	2,276	23,837	16,369	46,668	126	1,266	29,282	11,241	41,915	88,583
	林 野								3			3	3
	車 両	238		579	440	2,974	4,231	783			1,067	1,850	6,081
	船 舶												
	航空機												
	その他	5			40		45		1		22	23	68
	計	1,005	3,424	2,855	24,317	19,343	50,944	909	1,270	29,282	12,330	43,791	94,735

2 建物火災の状況

(1) 建物火災の用途別内訳

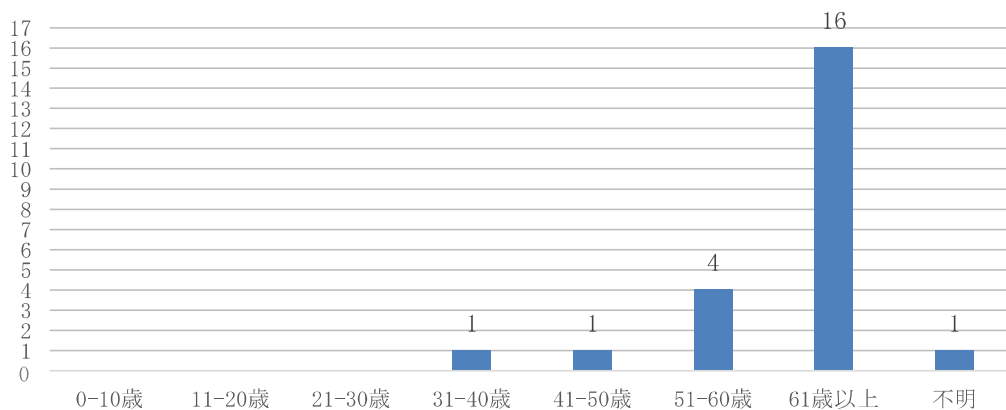


用途別内訳	件数	割合
一般住宅	13	31.7%
共同住宅	3	7.3%
社会福祉施設	1	2.4%
工場	14	34.2%
倉庫	2	4.9%
事務所	2	4.9%
特定複合用途	1	2.4%
非特定複合用途	2	4.9%
その他	3	7.3%
合計	41	100%

※割合合計の値(100%)が、四捨五入により各値の合計と一致しない場合があります。

(2) 過去10年間の住宅火災による死者の年齢別内訳

(人)



(単位：人)

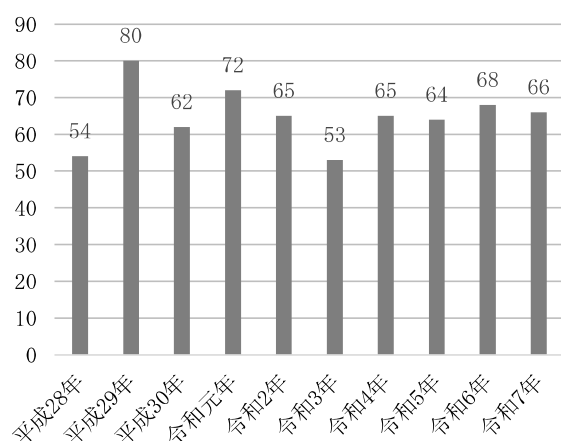
年齢	計	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
0-10歳											
11-20歳											
21-30歳											
31-40歳	1				1						
41-50歳	1										1
51-60歳	4					1	1	2			
61歳以上	16	1	1	1		3	2	1	4	1	2
不明	1							1			
合計	22	1	1	1	1	4	3	3	4	1	3

3 火災の傾向

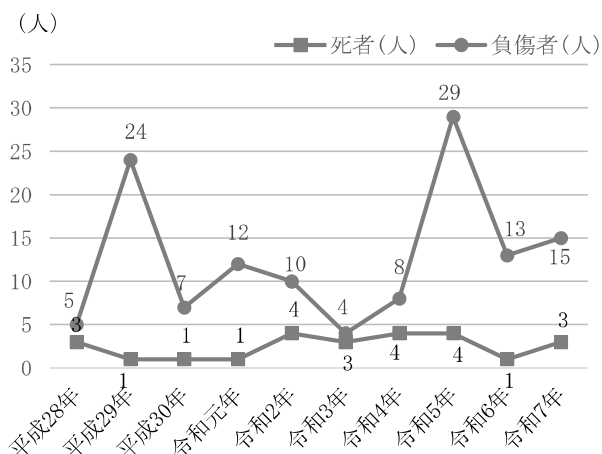
(1) 過去10年間の火災動向

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
出火件数(件)	54	80	62	72	65	53	65	64	68	66
焼損棟数(棟)	44	49	43	48	59	32	37	68	44	60
り災世帯(世帯)	21	27	17	26	56	18	23	46	20	33
焼損床面積(㎡)	965	8,805	3,012	11,566	2,045	864	979	2,372	1,700	920
死者(人)	3	1	1	1	4	3	4	4	1	3
負傷者(人)	5	24	7	12	10	4	8	29	13	15
損害額(千円)	63,763	1,603,557	683,447	1,099,825	259,061	123,676	522,797	258,158	534,964	94,735

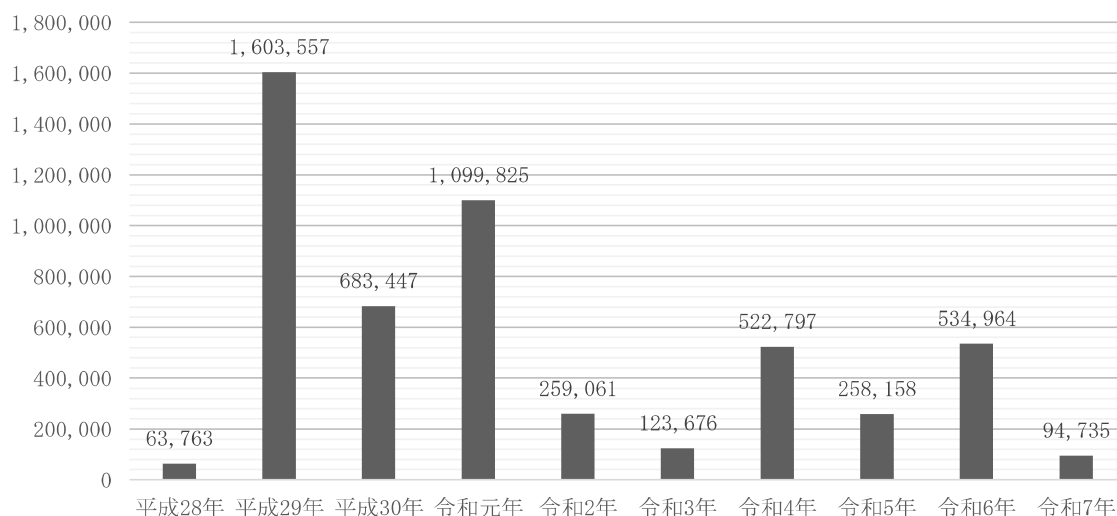
(件) 出火件数



(人) 死傷者数



(千円) 損害額



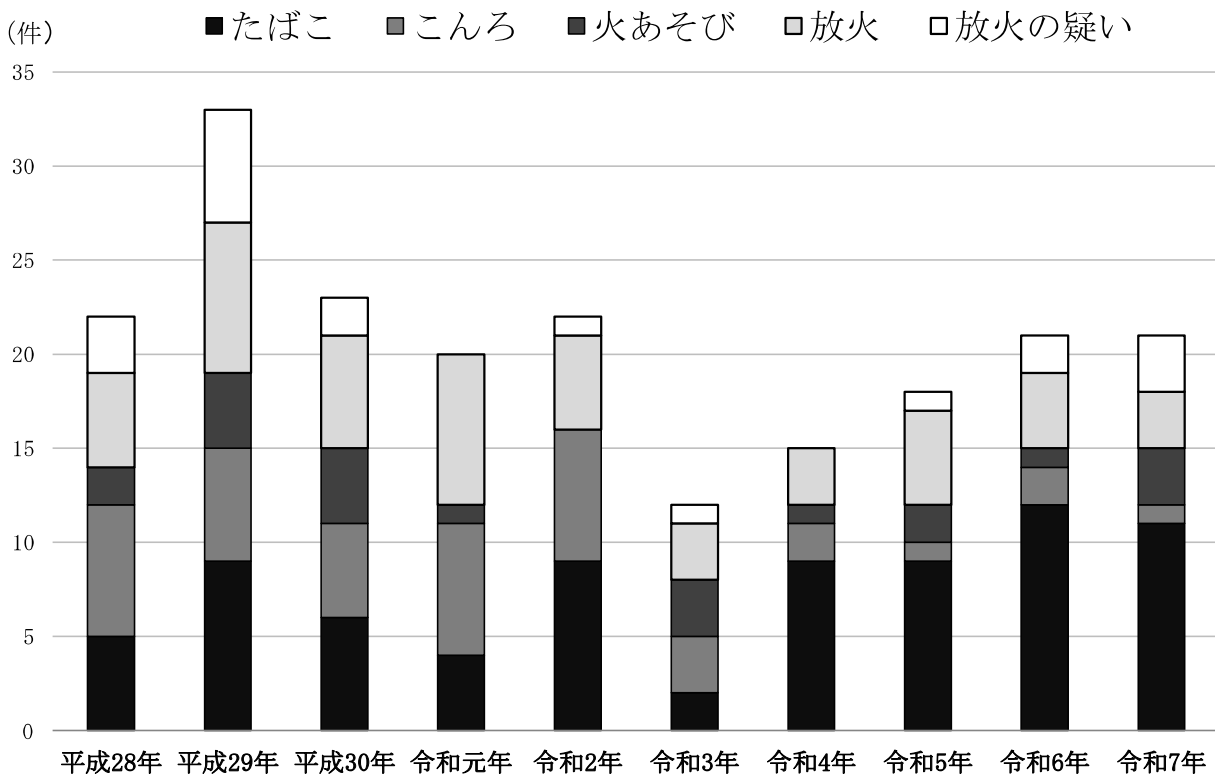
(2) 過去10年間の原因別火災動向

(単位：件)

原因 年	たばこ	電灯・電話等の配線	電気機器	電気装置	配線器具	排気管	火あそび	こんろ	ストーブ	放火	放火の疑い	その他	不明	火災件数
平成28年	5	3	2	4	1		2	7	1	5	3	19	2	54
平成29年	9	3	2	1	5	4	4	6	2	8	6	25	5	80
平成30年	6	4	2	2	2		4	5	2	6	2	23	4	62
令和元年	4	3	5	3	4	4	1	7		8		28	5	72
令和2年	9	5	2	2	2	1		7		5	1	30	1	65
令和3年	2	3	2	2	1	4	3	3		3	1	25	4	53
令和4年	9		6	4	5	4	1	2		3		30	1	65
令和5年	9	4	5	4	4	1	2	1	4	5	1	22	2	64
令和6年	12	7	5	5	2	4	1	2	2	4	2	20	2	68
令和7年	11	3	8	1	3	4	3	1		3	3	26		66

※「その他」は、原因別項目に該当しない原因を計上しています。

主な火災原因動向



令和7年火災統計

(令和7年1月1日～12月31日)

発行 令和8年4月

編集 富士市消防本部予防課

富士市永田町1丁目100番地
(0545) 51-0123
内線 3233

富士市行政資料登録番号

R 7 - 5 8